

テスト名	TOEIC (Test of English for International communication)	
1. 運営事業団体	国際ビジネスコミュニケーション協会	
2. テスト作成母体	ETS (Educational Testing Service)	
3. 主たる受験対象者	以下活用方法の対象となる者	
4. 目的/構成概念	<p>・一般の場面、または国際的な職場環境における英語によるコミュニケーション能力を評価する。</p> <p>・長い文章や情報を英語でやりとりできる能力や複数の文章の情報を関連づけて理解する能力なども測定する。また、これらの高度な能力を支える基礎的な能力(文法、語彙、音声識別能力など)もあわせて測定する。</p>	
5. テストの性質/項目数	<p style="text-align: center;">Listening</p> <p>・Part1 写真描写問題 (10問): 1枚の写真について4つの短い説明文が1度だけ放送される。説明文は印刷されていない。4つのうち、写真を最も的確に描写しているものを選び解答用紙にマークする。</p> <p>・Part2 応答問題 (30問): 1つの質問または文章とそれに対する3つの答えがそれぞれ1度だけ放送される。印刷はされていない。設問に対する最もふさわしい答えを選び解答用紙にマークする。</p> <p>・Part3 会話問題 (30問): 2人の人物による会話が1度だけ放送される。印刷はされていない。会話を聞いて問題用紙に印刷された設問(設問は放送される)と解答を読み、4つの答えの中から最も適当なものを選び解答用紙にマークする。各会話には設問が3問ずつある。</p> <p>・Part4 説明文問題 (30問): アナウンスやナレーションのようなミニトークが1度だけ放送される。印刷はされていない。各トークを聞いて問題用紙に印刷された設問(設問は放送される)と解答を読み、4つの答えの中から最も適当なものを選び解答用紙にマークする。各トークには質問が3問ずつある。</p>	<p style="text-align: center;">Reading</p> <p>Part5 短文穴埋め問題 (40問): 不完全な文章を完成させるために、4つの答えの中から最も適当なものを選び解答用紙にマークする。</p> <p>Part6 長文穴埋め問題 (12問): 不完全な文章を完成させるために、4つの答えの中から最も適当なものを選び解答用紙にマークする。</p> <p>Part7 読解問題 (48問): いろいろな文書が印刷されている。設問を読み、4つの答えの中から最も適当なものを選び解答用紙にマークする。</p>
6. 採点基準	新TOEICテスト、従来のTOEICテストとも正答1問につき5点といった配点ではなく、正答数をもとにスコアに換算して算出している。	
7. 得点	リスニング5点～495点 リーディング5点～495点 トータル10点～990点のスコアで5点刻みで表示される。	
8. 評価・Feedback	<p>公式認定証の発行</p> <p>・Your Score: 取得したリスニング・リーディングの各セクションスコア、トータルスコアの表示</p> <p>・Percentile Rank: 取得したスコアに満たない受験者が全体でどの位を占めているかをパーセンテージで表示</p> <p>・Score Descriptors: 取得したスコアをもとに受験者の英語運用能力上の長所を表示(弱点やレベルの評価基準も参照可能)</p> <p>・Abilities Measured: リスニング4つ、リーディング5つの各項目における正答率を表示</p>	
9. 受験時間	120分 (Listening 45分, Reading 75分)	
10. 受験者数	世界: 120か国で年間約600万人 (2010年) 日本: 年間約227万人 (2011年度)	
11. 受験料	5565円	
12. ウェブサイト	http://www.toEIC.or.jp/	
13. その他 (変化・特徴など)	<p>・2006年より形式変更(通称:新TOEICテスト)</p> <p>・ETSは、SEM(標準測定誤差)の範囲を±35点としている</p> <p>・団体向けに、団体特別受験制度(IP: Institutional Program、以下IPテスト)を設けている。IPテストでは企業・団体・学校などで任意に日時・場所を設定することが可能。</p>	

(感想) 日本では広く活用されているテストなので、教材も多く、対策の立てやすいテストだと思う。また、受験費用も比較的安価且つ受験可能な会場も多いので、継続的に受験して自身の英語力の伸びをみたい学習者にはとても便利である(H.S. 2013.2.24現在)